

Research on Determinants of Rail Transit Ridership: Taking Fukuoka, Japan as a Study Case

陳, 琦

<https://hdl.handle.net/2324/2236005>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	陳 琦
論 文 名	Research on Determinants of Transit Ridership -Taking Fukuoka, Japan as a Study Case- (鉄道乗降者数の影響要因に関する研究-福岡市を事例として-)
論文調査委員	主査 九州大学 教授 趙 世晨 副査 九州大学 教授 坂井 猛 副査 九州大学 准教授 Divigalpitiya Prasanna 副査 九州大学 准教授 外井哲志

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、鉄道駅のもつポテンシャルが見直され、まちなか居住や駅と一体となった市街地活性化の取り組みがなされている中で、公共交通としての鉄道利用を促進させることは、今後のコンパクトな市街地の形成のみならず、鉄道駅周辺における土地の有効活用及び市街地の活性化にとっても重要な課題となっている。こうした社会的背景を踏まえ、ケーススタディとして福岡市に立地する鉄道駅を対象に、駅までの鉄道利用者の徒歩時間、駅のタイプと乗降者数の関係、乗降者数に与える駅周辺土地利用の影響、起終点の関係から見た駅選択の傾向、の4つの側面から従来の統計手法と数理モデルを組み合わせた解析手法を用いて、鉄道利用者数に与える影響要因を明らかにし、土地利用計画や交通計画の立案に関する重要な知見を得たものとして、価値ある業績である。

よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。